

「先行整備案（たたき台）」の交通シミュレーションの結果や協議会でいただいた意見に対する検討結果を報告するとともに、たたき台をより良い計画とするための改善点や検討事項に関する意見を聴取することを目的として開催した。

- 出席者
- ・専門家
- ・事業者

清水義次、西村浩
広島県タクシー協会東部支部、広島県バス協会
福山市バス交通利用促進協議会、広島県東部観光推進協議会
福山市建設局、福山市企画財政局

- ・行政

●説明内容

1. 交通シミュレーション（資料3）

たたき台①・②の交通シミュレーションを説明。

（説明内容のポイント）

- たたき台①・②のいずれの案においても、福山駅前交差点の混雑緩和が図られる。
- たたき台①の一部区間において、短時間の滞留が発生する。

2. バスターミナルの形状（資料4）

たたき台②におけるバスターミナル西側の歩行空間の拡幅を検討。

（説明内容のポイント）

- バスターミナル西側の歩行空間を拡幅した場合、駅前広場内に4バスしか配置されないため、運行が困難となる。
また、2バスを確保するため用地買収が必要となることから、たたき台②に示すバスターミナルの形状が適切である。

3. 路線バス待機場の場所（資料4）

たたき台②におけるアイネスフクヤマ東側への待機場の配置を検討。

（説明内容のポイント）

- 待機場の流出入などに問題があるため、アイネスフクヤマ東側への待機場の配置は困難である。

4. 交通結節機能について現状との比較項目（資料5）

●計画の意見

- たたき台①・②の計画におけるシミュレーションでは、駅周辺の交通の流れについて大きな交通混雑は生じず、福山駅前交差点における混雑の緩和に寄与するものと考えられる。
- たたき台①については、待機場に行くまでのルートが複雑で移動時間を要する。路線バスの円滑性及び安全性の確保の観点からは、たたき台②がより適していると考えられる。
- 観光用の中小型・大型バス送迎場については、福山駅北口広場に集約して配置することが望ましい。

●その他の意見

- 交通施設の配置計画としては修正はないが、天満屋の駐車場待ち車両の対策や横断歩道の配置箇所、各交通施設の運用ルール等については、実施にあたり、検討が必要である。
- 現在の北口の一般車送迎場の混雑解消及び②-B案の一般車送迎場の円滑な運用に向けては、ルールづくりが必要である。

●まとめ

分科会で提示されたたたき台①案、②-A案、②-B案と「交通結節機能について現状との比較項目」については修正する箇所はなく、協議会に提示することを確認した。